

どくしよ

第21号

2021. 3. 15

茨城県読書をすすめる協議会

第21回茨城県読書をすすめる県民のつどい

没後75年記念講演会・朗読コンサート 野口雨情と流浪の時代

～100年前の流行歌とともに～

令和2年11月28日(土)

時間:14:15～16:00(受付14:00～)

会場:笠間公民館大ホール(笠間市石井2068-1)

定員:250名 ※申し込みは不要です。どなたもご自由に

内容

○開会行事

○講演 「野口雨情における流浪の本質」

茨城大学名誉教授 佐々木 晴章 氏

ゲスト 野口 不二子 氏

○朗読コンサート

朗読: 見澤 淑恵 氏

ピアノ: 山口 貴士 氏

※朗読CDフォーマットは用意をさせていただきます。

※本事業は、「名作を愛しむ会」事業とのコラボ企画です。



新企画 朗読とジャズピアノのコラボレーションです！ 両者が活躍した時代のメロディにのせて、聴かされる名作を朗読します。

【新型コロナウイルスへの対応について】
・本事業500名定員の会場を、座席の間隔を1席空けることにより250名定員とし、十分な換気を行います。
・マスクを着用した状態で、入室の際は検温と手の消毒に御協力ください。
・1日1回の検温と「どくしよ」活動は、引き続きさせていただきます。
・感染拡大の状況により、中止となる場合もあります。その際は茨城県立図書館ホームページでのお知らせがありますので、念のためご確認ください。

主催:茨城県読書をすすめる協議会 (公財)げんてんふいあい茨城財団 茨城県立図書館
後援:茨城新聞社 朝日新聞水戸総局 毎日新聞水戸支局 読売新聞水戸支局 産経新聞水戸支局 東京新聞水戸支局 NHK 水戸放送局 茨城放送 FM びるるん 笠間市教育委員会

【お問い合わせ先】 茨城県立図書館 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38
普及課 TEL 029-228-3622 FAX029-228-3583



第21回茨城県読書をすすめる県民のつどい

読書推進の灯を絶やさずに 茨城県読書をすすめる協議会長 稲葉 里子

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、協議会にとってもたいへんな一年となりました。第1回役員会は書面開催となり、一年間の事業を実施できるのだろうかかと不安でした。



しかし、会員の皆様の御協力により、時期は遅れましたが11月に総会と県民のつどいを実施することができました。心より感謝申し上げます。県民のつどいは「野口雨情と流浪の時代」と題し、講演の後に朗読とジャズピアノのコラボレーションがありました。なかなか見ることができない企画で、雨情の世界に浸って心豊かになりました。

令和2年度の読み聞かせコンクールは朗読、自由の2部門開催を準備しておりましたが、残念ながら県独自の緊急事態宣言を受け中止となりました。練習を重ねてきた出場者の皆様の、発表の機会が失われたことはたいへん残念です。来年こそコロナが収束し、皆様に努力の成果を見せていただくことを願っています。

しばらくは困難な時期が続くかもしれませんが、読書推進の灯を絶やすことなく、協議会の活動を通して1人でも多くの仲間をつくり、本の楽しさ、そして喜びを広めていきたいと思っています。

アフターコロナの図書館サービス 茨城県立図書館長 山田 順一

協議会の皆様には、日頃より本県の読書活動推進にご尽力いただき、感謝申し上げます。



さて、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍に見舞われた令和2年度、県立図書館でも多くの活動と交流の場が失われました。皆様の多くも、活動の休止や縮小を余儀なくされたのではないのでしょうか。

また一方で、小学校の給食の時間に朗読の録音を放送するなど、工夫して活動された団体もあつたようです。「できること」を考える大切さを教えられました。

コロナ禍の社会教育施設は、非来館型サービスを充実させる必要性も学びましたが、一つの場合に集うことでの「交流」や「学び合い」の大切さを再認識しました。また、各地で電子書籍の導入等も進むなか、県立図書館にしかできない施設運営、求められる機能とは何か、今、突き詰めて考える必要性を感じます。皆様と共に県域での読書活動推進に取り組むことも、その一つであると考えます。

県立図書館では「コロナ後」の県民生活向上と文化の発展のため、さらなる読書普及事業に取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

第 21 回茨城県読書をすすめる県民のつどい

期日：11月28日（土）

会場：笠間公民館
大ホール

◆主催者挨拶



茨城県読書をすすめる協議会
会長
稲葉 里子



(公財)げんでん ふれあい茨城財団
専務理事
高橋 鉄夫 氏



茨城県教育庁総務企画部
生涯学習課長
小田部 修一 氏

◆講演会・朗読コンサート

没後 75 年記念講演会・朗読コンサート 野口雨情と流浪の時代～100 年前の流行歌とともに～

講演会「野口雨情における流浪の本質」

講師：茨城大学名誉教授 佐々木 靖章 氏

ゲスト：野口 不二子 氏

朗読コンサート

朗読：見澤 淑恵 氏

ピアノ：山口 貴士 氏



朗読された野口雨情の詩：「流泊」「シャボン玉」「枯れすすき」「己（おれ）の家」「旅人の唄」

流泊
野口 雨情

大海の
青きを見れば
ふるさとの
思いぞすなる
ど、ど、ど、ど、と
どどろく波は
父母の
叫びに聞こゆ

いもうとの
うなじにかけし
黒き藻の
光は見えず
磯草の
流るる蔭に
いもうとは
珠とも照らず

ふるさとの
常陸の国よ
あこがれの
眼にうつれ
父母の
齢もわすれた
いもうとの
齢もわすれた

流泊



参加者の声

コロナの年、たいへんな中、開催ありがとうございました。郷土の詩人、「流浪」という視点からの講座、心にしみ入りました。朗読コンサートとのコラボ、より感動的でした。

前半のお話、まだまだこれからというところで、誠に惜しい限りでした。久々に体温から伝わってくる文学の感動を味わわせていただきました。ジャズピアノも朗読も見事に雨情の世界を表現されていました。素晴らしいコラボでした。今後は、より深く雨情作品に触れることができると思います。

ピアノの音楽と朗読がすばらしくマッチしていて良かった。せっかくの機会、コロナ禍でなければ一緒に歌いたかった。雨情の人生がすばらしい朗読、すばらしいピアノでドラマが脳裏にうつり、1本の映画をみたようでした。

とても素晴らしい県民のつどい、心から感動しました。対談形式は初めてのこと。その後の朗読によるコンサートブラボー。涙が出ました。ありがとうございます！

先月より銚田の公民館で見澤先生の朗読会に参加させていただいています。野口雨情のお話がきけて感動しました。また、見澤先生の朗読、山口様のピアノ演奏も素晴らしく、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

目先のことを考えず、孫子のことまで考えよ。しっかり不二子さんに伝わっていますね。不二子さんの元気なお姿、美声に圧倒されました。来て良かった。見澤さん素敵でした。

この会に初めて参加させていただきましたが、感動いたしました。雨情の全ての詩に感動いたしております。我々の住んでいる地にこんな感情豊かな詩人がいたことは本当に誇りに思っております。

講演会も良かったです。朗読コンサート、野口雨情の歌もすきですし、ファンなのでとても良かったです。ありがとうございました。心がいやされました。

講演のお二人のやりとりも楽しく、朗読と生ピアノ、映像が合っていて、徐々に心が和みました。

雨情さんの生き方の本質は何かといったようなことを佐々木さんとお孫さんが自分の言葉で説いてくれたので、興味深く聞くことができました。

野口雨情記念館を訪ねてみたくなりました。ピアノが美しかった…

情感あふれる見澤先生の朗読が最高でした。不二子さんの歌もすばしかったです。ピアノを聴きながら、異空間を旅したようです。

とても素晴らしい講演・コンサートでした。ピアノ、朗読はいうまでもなく、背景の写真も本当に良かったです。心のこもった不二子さんの歌も心に響きました。茨城にふさわしい、代表となるようなコンサートだったと思います。

講師・出演者から



佐々木 靖章 氏

籠の中で山雀（やまがら）は／榎（かや）の実欲しくて／空見てた／
誰が榎の実見せただろ／榎の実欲しくて山雀は／朝から晩まで空見てた

野口雨情が1921年に発表した童謡です。野鳥を飼う習慣は古くからありますが、籠の中に閉じこめられている鳥は、お腹がすいても、好きな時に餌を食べることはできません。こうした野鳥のひもじさを訴えるようすを、鳥の立場になって童謡に歌ったのは、雨情が最初ではないでしょうか。

雨情自身、子供の頃、山雀を飼ったことがあり、そのときの体験を歌ったのかもしれませんが。

「あいたさ見たさにこわさを忘れ」と始まる鳥取春陽作曲の「籠の鳥」がはやったのは1922年です。また、「歌を忘れたカナリヤは」と始まる西条八十の「かなりや」が発表されたのは1918年ですが、外来種のカナリヤは籠の中で飼われるのが普通でした。



野口 不二子 氏

今年は雨情没後75年になります。1919（大正8）年に発表した童謡（七つの子、シャボン玉、赤い靴）や雨情の自叙的な詩といわれる「己の家」などを見澤さんが心を込めて朗読しました。その中に出てくる百日紅は今年も赤い花を咲かせました。雨情の好きだった「十五夜お月さん」を雨情の心の叫びとして私も歌いました。時代を超えて感じられる言葉の生命力は、美しい言霊のようです。これから語り継いでいきたいものです。



見澤 淑恵 氏

事業の意図をお聞きし、雨情の人物像とその作品が伝えられる構成にしたいと思い、雨情の人生における印象的な場面を切り取りながら、その当時作られた詩を朗読するスタイルにしました。山口氏による当時の流行歌の演奏が、雰囲気を作ってくれました。今後も郷愁の詩人、雨情の作品を大切に朗読していきたいと思えます。



山口 貴士 氏

ジャズで野口雨情の世界を表現するにあたり、わたしの30年近くのジャズピアノ経験、知識を総動員して、アレンジしたようなところです。大変やりがいのある、ありがたい経験をさせていただきました。共演いただいた見澤淑恵様、野口不二子様はじめ、このような素晴らしい機会を与えていただきサポートいただいたスタッフの方々、足を運んでいただいたお客様、皆様に心から感謝申し上げます。

今年度「いばらき読書フェスティバル」は開催されませんでした。送付による感謝状贈呈を行いました。感謝状等を受けられた団体・個人をご紹介します。

令和2年度 読書関係感謝状・表彰

【読書活動の振興発展に寄与した者等への感謝状贈呈】

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ○茨城県議会議長感謝状 | おはなしのポケット（ひたちなか市） |
| ○茨城県教育委員会教育長感謝状 | さくらんぼ（ひたちなか市） |
| ○茨城県読書推進運動協議会長感謝状 | |
| 学校図書館（室） 功労者 | 石井 浩子さん（龍ヶ崎市立駒馬台小学校） |
| | 石川 貴子さん（茨城県立下館工業高等学校） |
| 学校図書館（室） | 茨城県立麻生高等学校図書館 |
| 読書団体 | あすなろの会（筑西市） |
| | 土浦おはなしポケット（土浦市） |
| | 魔法のランプ（水戸市） |
| | ブックママ（神栖市） |
| | おはなしの窓（牛久市） |

【公益社団法人読書推進運動協議会長賞】

図書館ボランティアとりで（取手市）

読書をすすめる協議会 団体紹介

読み聞かせ「大空の会」(美浦村)

- 公民館図書室の「おはなし会」を2か月に1回、もう1つの団体と交互に担当
- 2歳児歯科検診時に図書室の絵本を約30冊持ち込み、読み聞かせと図書室の紹介をしている。
- 公民館のイベント時、読み聞かせブースで参加
- 子育て支援センターでの読み聞かせ

15年前に立ち上げ、絵本の世界に癒されながら、「絵本で子育て」を呼びかけています。図書室の絵本を多く活用して、読み聞かせ活動をしています。令和2年度はいろいろとたいへんでしたが、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保等の対策をして活動を続けました。これからも、子どもや若い保護者たちに絵本の楽しさを伝えていきたいです。



●図書室入り口の美浦村マスクotteキャラクター「みほーす」もしっかりマスクをしています



●ソーシャルディスタンスを確保して活動しました

「茨城県読書をすすめる協議会」について

発足から 20 年を経過した県協議会について、改めてその成り立ちと活動の目的をふり返ってみましょう。

○茨城県読書推進のあゆみ

西暦(元号)	できごと
1956(S31)	茨城県立図書館新館(旧図書館)が水戸市三の丸119番地に竣工
1959(S34)	<u>茨城県 PTA 母親文庫制度がスタート</u> 茨城県移動図書館連絡協議会が発足
1967(S42)	茨城県立図書館・茨城県移動図書館連絡協議会が「読書活動の手引」を発行 第1回茨城県図書館大会(のちに「茨城県読書振興大会」と改称)開催
1976(S51)	茨城県読書会育成推進委員会を結成、第1回読書グループ連絡会開始
1988(S63)	茨城県 PTA 母親文庫指定 30 周年記念大会開催、記念誌発行
1989(H1)	茨城県が読書グループの数で全国第1位(1989年当時)となり、茨城県読書会育成推進委員会が役目を終える。
1992(H4)	<u>茨城県読書団体連絡協議会(※)が発足</u>
1999(H11)	「'99 いばらき読書フェスティバルー第33回茨城県読書振興大会ー」開催 (読書フェスティバルの始まり。翌年の第34回まで「茨城県読書振興大会」を併記)
2000(H12)	3月、茨城県 PTA 母親文庫 40 周年記念誌「心のかげ橋」発行 <u>茨城県 PTA 母親文庫運営協議会が平成 11 年度をもって発展解消</u> 4月、 <u>茨城県読書団体連絡協議会が「茨城県読書をすすめる協議会」に改称</u> (茨城県 PTA 母親文庫運営協議会の活動が「すすめる協議会」に統合) 「第1回茨城県読書をすすめる県民のつどい」開催
2020(R2)	「第21回茨城県読書をすすめる県民のつどい」開催

※同名の協議会が 1960(S35)年に一度発足しているが、これは完全な仕切り直し。

年表を見るとわかるように、「茨城県読書をすすめる協議会」は「茨城県 PTA 母親文庫運営協議会」と「茨城県読書団体連絡協議会」が統合し、新たな名称で発足したものです。

「PTA 母親文庫」とは？

「本を読む母親の姿」「本を通して母と子の語り合い」を各家庭で実現し新しい家庭教育のあり方を打ち出す、という目的で 1959 年に始まった取組です。各学校 PTA の母親文庫委員や教養委員が中心となり、1 週間単位で保護者自身が本を回し読みする活動や、学校図書館の充実等子どもの読書環境向上のための様々な活動が行われました。「実施推進校」に指定された PTA は、何年間かの取組事例を年 1 回の「茨城県 PTA 母親文庫運営協議会総会・運営研究会」の際に発表しました。県の運営協議会は解散しましたが、現在も「ふれあい文庫」等の名称で継続している組織は数多くあります。



「茨城県読書団体連絡協議会」とは？

1992年に発足し、「県内の読書団体・文庫等への協力と相互の連絡提携を図り読書運動の推進を期する」という目的のもと、読書団体、文庫間の連絡と情報の交換、講演会・著書を囲む会・研修会・読書会・文学散歩等の開催等の事業を行いました。多数の母親文庫設置校も加入していました。2000年3月をもって解散した茨城県PTA母親文庫運営協議会に加入していた文庫の受け皿となり、2000年4月に「茨城県読書をすすめる協議会」として再スタートしました。

思い出のP文資料室

*下記の出版物は県立図書館で閲覧することができます



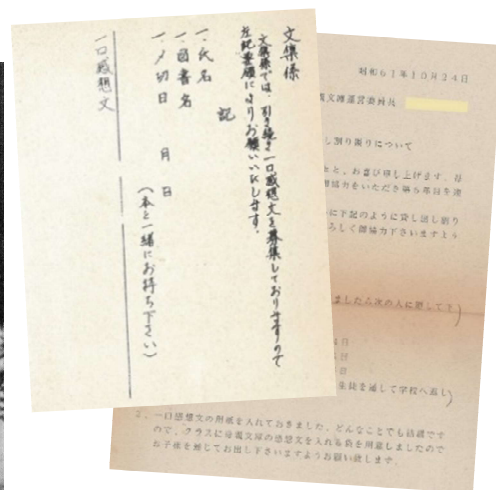
PTA 母親文庫 30 周年記念誌・40 周年記念誌



平成9年度PTA母親文庫運営協議会
総会・運営研究会並びに講演会資料から



昭和30年代の様子（PTA母親文庫30周年記念誌より再掲）



県立図書館の古い本の間から、PTA母親文庫のお便りや文集の原稿用紙が出てくることも多いです。

主な参考文献：平成30年度茨城県立図書館要覧(2018, 茨城県立図書館)、2018年度全国読書グループ総覧(2020, 公益社団法人 読書推進運動協議会)、読書活動の手引き(1967, 茨城県立図書館)、茨城県PTA母親文庫指定40周年記念誌(2000, 茨城県PTA母親文庫運営協議会・茨城県立図書館)

○茨城県読書をすすめる協議会の組織と目的 —規約の一部抜粋から—

(組 織)

第2条 県協議会（茨城県読書をすすめる協議会）は、県内の読書団体、保・幼・小・中・高等学校・特別支援学校等並びにPTA 文庫、読書ボランティアグループ等をもって組織する。

(目 的)

第3条 県協議会は県内の読書団体、保・幼・小・中・高等学校・特別支援学校等並びにPTA 文庫、読書ボランティアグループ等の連携・交流及び支援体制の強化に努め、本県における読書運動の推進を図ることにより、未来を担う青少年の健全育成と、生涯学習の発展に資することを目的とする。

県協議会では、上記目的を達成するために団体間の連絡と情報交換、講演会・著者を囲む会・研修会・読書会・文学散歩等の開催、機関誌の発行その他必要な事業を行っています。

○読書団体・PTA のみなさんへ

地区別の協議会、県協議会主催の講演会・研修会等を通して交流し、お互いの活動を充実させていきませんか。県域の規模で読書団体等が結びついているのは茨城県読書をすすめる協議会だけです。

○学校等関係者・PTA のみなさんへ

子どもの読書活動を充実させたいと考えている保護者の皆さん、先生方、他の学校・園・PTA や地域の読書団体と知り合い、情報交換しませんか。また、すでに読み聞かせボランティア等で協議会加入団体とつながりがある学校・園さんは、協議会に加入することでその団体の活動を応援することができます。

○茨城県読書をすすめる協議会に加入するには

毎年、5月頃に各学校・園に直接、または各市町村立図書館を通して読書団体に加入案内を配布しています。前年度加入の読書団体に対しては、各地区協議会を通じて配布しています。年度の途中でも随時加入可能ですので、加入を希望される場合はホームページを参照ください。

〈ホームページアドレス〉 <https://www.lib.pref.ibaraki.jp/susumeru/index.html>

（茨城県立図書館 HP トップページ右下《図書館関係者向けリンク》にボタンがあります。）

※加入申込書の提出と年会費¥1,000（振込または現金）の納入が必要です。

【問い合わせ先】 茨城県読書をすすめる協議会事務局 茨城県立図書館 普及課

TEL : 029-221-5569

◇◆◇令和2年度役員紹介◇◆◇

顧問 山田 順一（茨城県立図書館長）

会長 稲葉 里子（県西地区・結城市）

副会長 畔野 晴美（水戸地区会長・水戸市）

林 昌子（県南地区会長・美浦村）

畠山美弥子（県西地区会長・古河市）

理事 小池 牧子（水戸地区副会長・常陸大宮市）

長谷川登代（県南地区副会長・守谷市）

海老原和子（県西地区副会長・結城市）

監事 海老原一郎（県南地区副会長・土浦市）

中根 加代（水戸地区副会長・水戸市）